

「外構部等の木質化対策支援事業」添付図面作成のためのチェックシート (申請者用)

添付図面を作成する場合は、以下の事項を遵守し提出願います。

文字、数字が判読できない場合など遵守されていない事項がある場合は再提出になります。

下記事項を確認いただきまして、図面提出時に□部に✓をつけた状態で一緒に提出してください。

【塙】 利用者番号 y

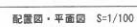
事業者名

工事件名

添付図面確認 (塙) (柱芯間の長さの合計で助成)

チェック	図面	図面・書類	内容
☐	図面 案内図・配置図 平面図・立面図 断面図 の各名称、縮尺の 記入 ☐ 図面はA3を標準とする。図面は片面印刷とし、両面印刷はNG 文字は黒字とする。 線は黒線とする。 文字高は提出時に2.5mm以上とする	☐ 案内図	最寄り駅等からの道順 施設の所在地・利用者番号・工事件名・事業者名
		☐ 配置図、平面図	☐ 施設を設置する敷地全体の形状が作図されているか
			☐ 建物の形状、対象となる木塙が記載されているか
			☐ 対象となる木塙の柱位置、形状 配置寸法、柱本数が記載されているか
			☐ 柱芯間の総長さが記載されているか
			☐ 地番面よりの高さ、基礎天端からの高さが記載されているか
			☐ 方位、隣地との高低差が記載されているか
			☐ 基礎は新設か
			☐ 基礎は既存か
			☐ 基礎はRCか
			☐ 基礎はコンクリートブロック造か
			☐ 構造的に自立しているか
			☐ 建物から12mm程度以上の間隔があり 接続されていないか
			☐ 利用者番号、工事件名、事業者名
			☐ 柱芯間の設置間隔は2,000mm以下か
		☐ 立面図、断面図	☐ 基準部（標準形状）、基準部外の立面図 断面図の図示
			☐ 材料寸法、板数が記載されている
			☐ 独立基礎に接する柱
			☐ 基礎に接する土台 K4又はAQ1種認証材
			☐ 頭つなぎと貫
			☐ 土台に接する柱 K3又はAQ2種認証材以上
		☐	☐ 頭つなぎの上の笠木
			☐ 横板・縦板 木材保護塗料 WP JASS18M-307適合品等以上
		☐	☐ 耐久性ごとに凡例と共に色分けされているか

修正が必要な配置図・平面図



利用者番号	w1001	工事件名	〇〇様邸木塀工事
-------	-------	------	----------

- ①建物の形状が記載されていない。(公募第5条対象となる施設にあたる)
- ②支柱位置が明示されていない。(公募第5条の材積と関係する)
- ③柱間隔の寸法線と柱本数が記載されていない。(同上)
- ④地盤面よりの高さの記載がない。(立面図、断面図との整合性)
- ⑤総延長の記載がない。(公募第5条のmあたりの材積と関係する)
- ⑥隣地との高低差の記載がない。(木堀の基礎の安全性の確認)

○期A～Dの総長＝10,000+9,000+10,000+5,200＝34,200（全長の記載）
柱本数：25本

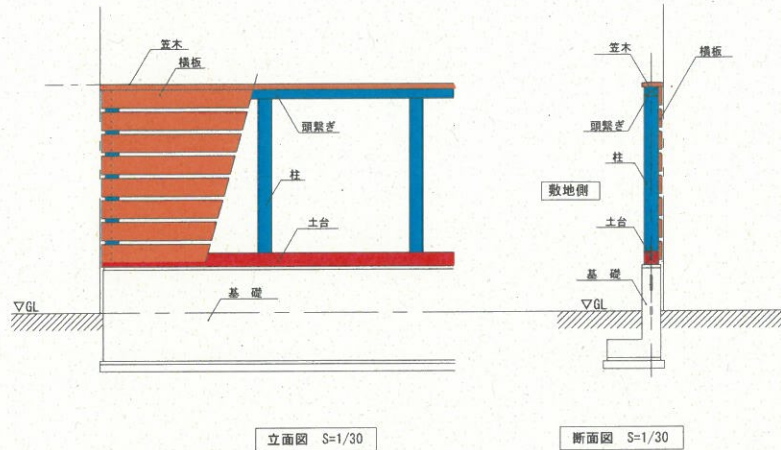
配置图·平面图 S=1/100

単位はmm

利用者番号	w1001	工事件名	〇〇様邸木塀工事
-------	-------	------	----------

木塀図面（2）

修正が必要な立面図・断面図



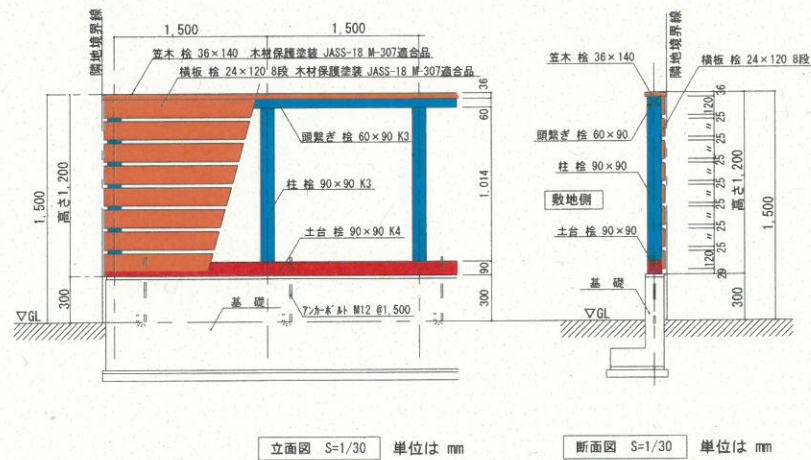
利用者番号 w1001 工事件名 ○○様邸木塀工事

訂正事項

- ① 柱間隔の寸法線の記載がない
- ② 地盤面（GL+）より笠木天端までの木塀の高さの記載がない
- ③ 地盤面より基礎の高さ+木部の寸法の記載がない
- ④ 木塀の材種、部材寸法の記載がない
- ⑤ 基礎の種類（PC造・RC造・CB造）と木部の緊結（アンカーボルト等）の図示がない
- ⑥ 木材の耐久性処理方法（公算要領 別紙）の凡例と色付けがない
 - (1) 地際又は基礎に接する部分・・・K4、K4相当の注入処理したもの、AQ1種認証材
 - (2) 強度保持上重要な部位（土台がある場合の支柱、縦板を受ける胴縁等）・・・K3、K3相当の注入処理したもの、AQ2種認証材
 - (3) 強度負荷の少ない部位（目隠し等の板材）・・・木材保護塗料（JASS18M-307適合品等）、AQ認証された屋外製品部材

※木塀の木部の高さのある施設には、斜材を取り付けた方が望ましい

審査基準に準拠した配置図・平面図



耐久性の凡例

- K4またはAQ1種認証材（土台下にパッキン材を使用する場合も同じ）
- K3またはAQ2種認証材以上
- 木材保護塗料 JASS18-M307適合品（K3またはAQ2種認証材に以上可）

※交付申請時には耐久性処理を施した措置を記入する事。

利用者番号 w1001 工事件名 ○○様邸木塀工事

「外構部等の木質化対策支援事業」添付図面作成のためのチェックシート（申請者用）

添付図面を作成する場合は、以下の事項を遵守し提出願います。

文字、数字が判読できない場合など遵守されていない事項がある場合は再提出になります。

下記事項を確認いただきまして、図面提出時に□部に✓をつけた状態で一緒に提出してください。

【デッキ】利用者番号

y

事業者名

工事件名

添付図面確認（ウッドデッキ）（束芯による床面積の算定で助成）

チェック	図面	図面・書類	内容
□	図面 案内図・配置図 束伏図・大引伏図 平面図・立面図 断面図 の各名称、縮尺の記入 図面はA3を標準とする。図面は片面印刷とし、両面印刷はNG 文字は黒字とする。 線は黒線とする。 文字高は提出時に2.5mm以上とする	□ 案内図	最寄り駅等からの道順 施設の所在地・利用者番号・工事件名・事業者名
		□ 配置図	☐ 施設を設置する敷地全体の形状が作図されているか ☐ 建物の形状、対象となるデッキが記載されているか ☐ 床面積が計算できる寸法線が記載されているか ☐ 束本数の配置寸法、本数は記載されているか
			☐ 床面積が計算式と共に記載されているか ☐ 束芯で囲まれる範囲の床面積で、床材の設置範囲とし、開口等は束芯範囲で参入しない
			☐ 地盤面よりの高さは記載されているか ☐ 方位、隣地との高低差は記載されているか ☐ 利用者番号、工事件名、事業者名
		□ 束伏図・大引伏図 平面図・立面図・断面図	☐ 平面（束伏）図、平面（大引伏）図、平面（床伏）図に分けて作成されているか ☐ 設置上の最低基準に準拠しているか
			☐ 束（たて×よこ） 89mm以上×89mm以上 K4またはAQ1種認証材
			☐ 大引（たて×よこ） 89mm以上×89mm以上 K3またはAQ2種認証材以上
			☐ 床材（厚さ） 大引間隔 900mm未満の場合 30mm以上 大引間隔 900mm以上の場合 38mm以上 K3またはAQ2種認証材以上
			☐ 幕板 木材保護塗料 JASS18M-307適合品塗布以上
			☐ 立面図・断面図は地盤面よりの高さ及び束石からの高さが記載されているか
			☐ 図面に部材の寸法と長さが記載されているか
			☐ デッキに対象外部分がある場合は、対象部分と対象外部分が明確に区分されているか
			☐ 大引・根太は直置き（ころばし）ではない
			☐ 構造的に自立している
			☐ 建物から12mm程度以上の間隔があり接続されていない
			☐ 耐久性ごとに凡例と共に色分けされているか

デッキ図面 (1)

修正が必要な平面図



平面図 (床伏図) S=1/30

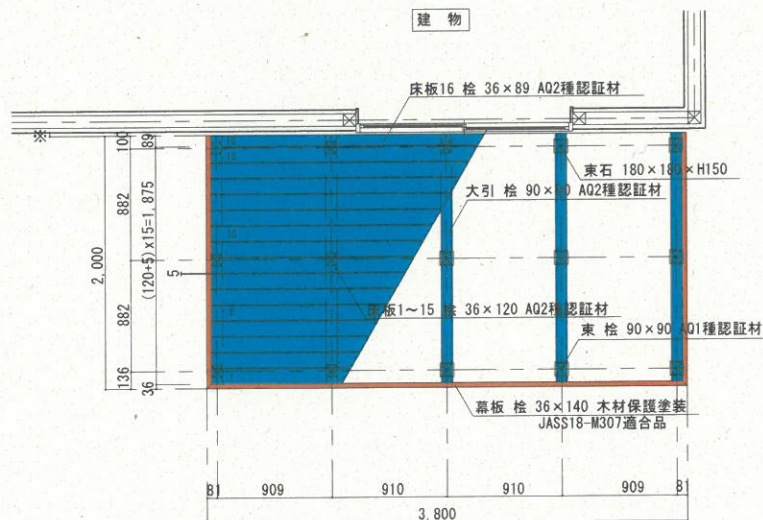
利用者番号 w1001 工事件名 ○○様邸デッキ工事

訂正事項

※配置図では可としますが、平面図では下記の事項を記載してください

- ①東石、大引の位置及び間隔の寸法記載をしてください (材積が拾えません)
 - ②デッキ材全ての材種、部材名部材寸法の記載をしてください (同上)
 - ③各部材の長さの記載をしてください (同上)
 - ④木材の耐久性処理方法 (公募要領 別紙) の凡例と色付けの記載をしてください
- (1) 地際又は基礎に接する部分 (東等) . . . K4、K4相当の注入処理したもの、A01種認証材
- (2) 強度保持上重要な部位 (大引・床板等) . . . K3、K3相当の注入処理したもの、A02種認証材
- (3) 強度負荷の少ない部位 (幕板等) . . . 木材保護塗料 (JASS18M-307適合品等)、A0認証された屋外製品部材

審査基準に準拠した平面図



※デッキ部分は建物と一体としないこと。

耐久性の凡例

- K4またはA01種認証材
- K3またはA02種認証材以上
- 木材保護塗料 JASS18-M307適合品 (K3またはA02種認証材以上も可)

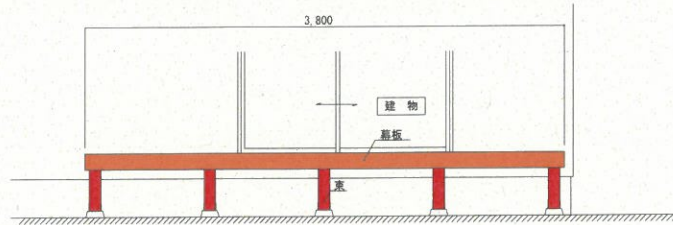
※交付申請時は耐久性処理を施した措置を記入する。

平面図 (床伏図) S=1/30 単位は mm

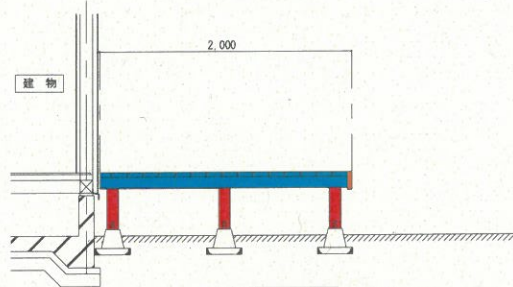
利用者番号 w1001 工事件名 ○○様邸デッキ工事

デッキ図面（2）

修正が必要な立面図・断面図



立面図 S=1/30 単位は mm



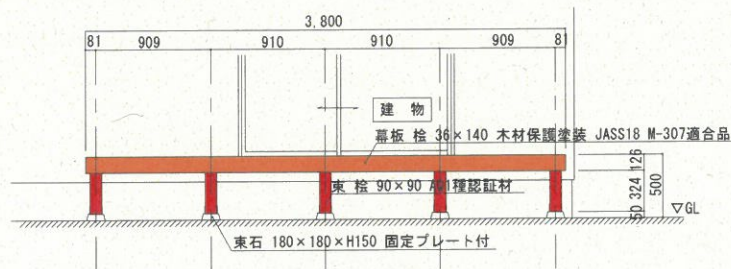
断面図 S=1/30 単位は mm

利用者番号 w1001 工事件名 ○○様邸デッキ工事

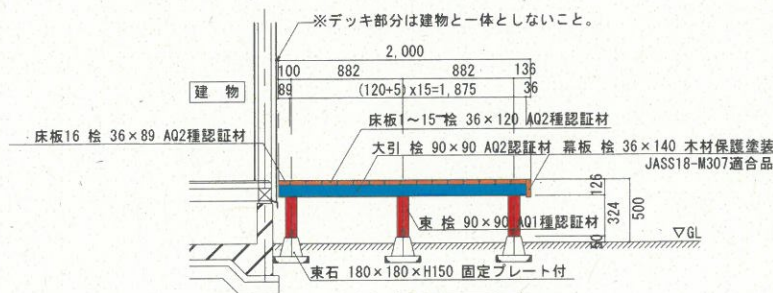
訂正事項

- ①束石、大引の位置及び間隔の寸法記載をしてください（材積が拾えません）
 - ②デッキ材全ての材種、部材名部材寸法の記載をしてください（同上）
 - ③各部材の長さの記載をしてください（同上）
 - ④木材の耐久性処理方法（公募要領 別紙）の凡例と色付けの記載をしてください
- (1)地際又は基礎に接する部分（束等）・・・K4、K4相当の注入処理したもの、AQ1種認証材
- (2)強度保持上重要な部位（大引・床板等）・・・K3、K3相当の注入処理したもの、AQ2種認証材
- (3)強度負荷の少ない部位（幕板等）・・・木材保護塗装（JASS18-M-307適合品等）、AQ認証された屋外製品部材

審査基準に準拠した立面図・断面図



立面図 S=1/30 単位は mm



断面図 S=1/30 単位は mm

耐久性の凡例

- K4またはAQ1種認証材
 - K3またはAQ2種認証材以上
 - 木材保護塗装 JASS18-M307適合品
- (K3またはAQ2種認証材以上も可)

※交付申請時は耐久性処理を施した措置を記入する。

利用者番号 w1001 工事件名 ○○様邸デッキ工事